

令和元年度
部局運営方針
(振り返り)

令和2年7月



The Ambitious City

部局運営方針振り返りとは

当該年度の部局運営方針に対して、年度終了後に振り返りを実施します。

なお、振り返りにおける事業総括の選択肢は以下のとおりです。

事業総括選択肢

- a.事業はすべて予定どおりに進捗した、b.事業はおおむね予定どおりに進捗した
- c.事業はあまり予定どおりに進捗しなかった、d.事業はまったく進捗しなかった

ヒアリング日程

令和2年7月13日(月)及び14日(火)

目次

企画財政部	01
総務部	02
防災危機管理室	03
市民環境部	04
保健福祉部	06
子育て支援部	07
建設部	08
経済部	09
水道部	10
会計室	11
議会事務局	12
監査委員事務局	13
教育部	14
消防本部	15

1 振り返り

【事業総括】 (b) 事業はおおむね予定通りに進捗した

- 【特記事項】
- ・次期総合計画及び次期都市計画マスタープランについて、議会特別委員会等の審議を行いながら、予定通りに進めることができた。
 - ・駅西口の再開発に向けて、立地適正化計画に基づき民間事業者に対しサウンディング調査を実施し、方針を固めることができた。
 - ・「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の推進には、他部局の業務進捗状況を踏まえながら、社会増の人口推移を維持するなど一定の成果が表れている。
 - ・公共交通に関しては、北広島団地線を再編し利便性の高い交通網を構築することができた。
 - ・ふるさと納税の取組みについては、新たな返礼品を盛り込み、さらにはPRを強化し、大きな実績を上げることができた。
 - ・ボールパーク構想の実現に向けては、各関係機関と積極的な協議を行い予定通り進めることができた。

1 振り返り

【事業総括】 （b）事業はおおむね予定通りに進捗した。

【特記事項】

（1）人材の確保について

特に技術職の応募自体が少なく、再募集を行うなど厳しい人材確保対策

令和元年度新採用採用試験 第1回（6月） 事務8・土木1・保育2・消防4
 第2回（9月） 建築0
 第3回（10月） 土木1
 第4回（1月） 事務4

（2）会計年度任用職員の制度確立について

令和2年度施行の会計年度任用職員制度について、システムの導入、関係条例・規則等の整備を行った。令和2年4月1日には399名の会計年度任用職員を任用し、円滑に制度移行を行うことができた。

（3）時間外勤務の縮減について

令和元年度は、全体的な縮減目標は示さず、部署ごとに次のとおり目標を設定したが、一般会計分の全55の部署の内、目標を達成できたのは半数の27であり、28の部署については目標を達成できなかった。

また、21の部署で前年度実績より時間外勤務時間数が多くなっており、全体を見ても前年度から6,670時間増加し前年度比109%となっている。

	H28	H29	H30	H31（R1）
時間外勤務手当額	203,754 千円	178,673 千円	183,237 千円	193,211 千円
時間外勤務総時間数	86,957 時間	76,913 時間	76,083 時間	82,753 時間
一人当たり平均	212 時間	186 時間	182 時間	197 時間
年間360時間超職員数	75 名	58 名	40 名	46 名

* H30の時間外勤務総時間数にはボールパーク、震災関連分を含む。

（4）債権一元化について

（滞納分収納率）	H28	H29	H30	H31（R1）
保育料	11.13%	19.33%	27.26%	49.62%
介護保険料	21.55%	33.27%	36.60%	45.47%
後期高齢者保険料	43.98%	60.22%	52.68%	64.01%
合計	16.28%	25.87%	31.31%	49.36%

1 振り返り

【事業総括】 (b)事業はおおむね予定通りに進捗した

【特記事項】 (危機管理課)

- ・北広島市地域防災計画・水防計画の修正について、上位計画（国の防災基本計画、北海道の地域防災計画及び水防計画）の改正等を踏まえ、所要の修正を行った。
- (災害復興支援課)
- ・平成 30 年北海道胆振東部地震による被災者への支援と生活再建に向けた相談等の対応を継続して行った。
 - ・災害救助法による「みなし仮設住宅」の供与を継続するとともに、保健福祉部の協力を得て家庭訪問を実施するなど新たな支援を行った。
 - ・市民環境部及び建設部の協力を得て「被災家屋等の撤去」制度を活用し、半壊以上の被災家屋等に係る撤去費用の支援を行った。
 - ・町内会の要望を受け大曲並木地区住民説明会を 1 回（12 月 1 日開催）開催した。
 - ・みどりの里住民集会所の補修が困難となったことから代替施設を借上げし、地域コミュニティの復興支援を行った。
 - ・被災者との合意形成を図り、宅地耐震化工事を令和元年秋頃から実施する予定であったが、令和 2 年春からの着手となった。

1 振り返り

【事業総括】 （b） 事業はおおむね予定通りに進捗した

【特記事項】

（市民課）

- ・「第3次犯罪のない安全で安心なまちづくり推進計画」（計画期間：令和2年度から開始）を策定した。
- ・平和の推進では、国立広島原爆死没者追悼平和祈念館から講師を招いて被爆体験伝承者講話を開催し、次世代への継承に努めた。
- ・町内会・自治会活動の支援ツールである「町内会・自治会の手引き」を発行し、全町内会・自治会に配布（市ホームページにも掲載）した。
- ・地域コミュニティの活動拠点である地区センター・住民集会所について、備品の整備を進めたほか、再編・長寿命化に向けて、個別施設計画を策定した。
- ・個人番号カードについては、国から示されたカードの普及に係る方針に基づき「交付円滑化計画」を策定し、交付事務の増加に伴う人員配置も行い普及の推進を図った。

（環境課）

- ・6月から9月にかけて市街地に頻繁に出没したヒグマについて、箱わなにより捕獲し、駆除した。
- ・ごみ減量化・資源化に向けて、事業系の生ごみについては、事業所への訪問指導により分別事業所数を増加させた。また、ボールパークのごみの分別や再資源化等について球団側と協議や視察を行った。
- ・ごみ処理広域化事業は、道央廃棄物処理組合の入札により焼却施設の建設工事業者が決定し、当初のスケジュールどおり進捗した。

（市民参加・住宅施策課）

- ・空き家対策事業については、空き家に対する苦情や相談に随時対応するとともに、北広島市空家等の適切な管理に関する条例第2条の規定に基づき「準特定空家」として認定した物件のほか、把握している改善を要する物件について指導を行った。また、次期空家等対策計画の策定に向け、市民アンケート調査を行った
- ・住み替え支援事業については、不動産会社、金融機関、UR等と連携して空き家相談会を2回開催し好評を得た。
- ・子育て世代マイホーム購入サポート事業については、支援制度の浸透や不動産業者等へのPR効果によって、当初の申請見込みを上回る253件の申請があった。また、このうち、92件については中古住宅の購入であったことから、定住促進のほか、空き家

抑制に対しての一定の成果があった。令和元年度で事業を終了したが、元年度未までに住宅取得契約済みのものについては、翌年度に予算を繰り越し助成することとした。

- ・協働事業提案制度については、平成 30 年度に成案化した「出張型(巡回型)ひろば事業」を令和元年度から実施した。
- ・公益活動事業補助金については、「胆振東部地震に学ぶ学校の減災教育と災害対応に関する事業」への補助を行った。
- ・男女共同参画推進事業については、男女共同参画パネル展及びワークライフバランスセミナーを開催し、制度に対する理解を深めるとともに、次期参画プランの策定に向け、市民アンケート調査を行った。

1 振り返り

【事業総括】 (b) 事業はおおむね予定どおりに進捗した

【特記事項】

令和元年度に重点事項として掲げた9項目については、ほぼ予定どおりに進捗したものと評価しているが、以下のとおり目標を達成できない部分もあったことから(b)とした。

避難行動要支援者対策事業 (b)

令和元年度において、新たに11団体と協定を締結し要支援者名簿の提供を行ったが、全体計画に基づく個別計画の策定をモデル地区において実施したが、十分な内容で策定できず今年度への繰り越しとなった。

民生委員児童委員の一斉改選 (b)

12月1日の一斉改選にあたっては、欠員地区の解消（減少）に向け町内会等の連携を図ってきたものの、結果としては3年前の一斉改選時と同程度の欠員状態となったため、引き続き、候補者の選定作業を進め、委嘱につなげていきたいと考える。

自殺対策計画策定事業 (c)

自殺対策計画策定に向け準備を進めることとしていたが、具体的な取組みを進めることができず今年度への繰り越しとなった。

1 振り返り

【事業総括】 (b) 事業はおおむね予定通りに進捗した

【特記事項】 予定通り実施できたもの

(1) 子ども・子育て支援プラン推進事業

平成 30 年度のニーズ調査結果を踏まえ、子ども・子育て会議における審議を経て、第 2 期北広島市子ども・子育て支援プラン（計画期間：令和 2～6 年度）を策定した。

(2) 保育施設の受入態勢の確保

私立保育施設の増築補助を行い、令和 2 年 4 月当初からの保育定員を拡大することができた。（令和 2 年 4 月～20 人増）

保育現場の人材確保策として、福祉人材確保対策事業や保育士等人材バンクを継続実施し、新たに保育士就労支援金「きたひろ手当」の制度を整えた。

(3) 幼児教育・保育の無償化への対応

施設や保護者を対象に説明会を行い、混乱することなく開始することができた。（保護者説明会 幼稚園（9 施設）263 人 保育所（11 か所）157 人）

(4) 子どもの権利擁護、貧困対策事業

子どもや保護者への周知啓発活動を継続するとともに、第 2 回子ども会議を実施した。

（テーマ「私たちが考えるボールパークと将来のきたひろしま」小学生 11 人、中学生 1 人、高校生 2 人、計 14 人参加）

(5) 子育て環境の充実

7 月から子育てアプリを活用した情報提供を開始した（令和 2 年 3 月末時点登録者数 165 人）。市民協働による出張型ひろば事業を定期的に行った。

* 出張型ひろば 市内 2 か所、各月 1 回 延参加者数 121 人

* 小学生のひろば 市内 2 か所、各年 2 回 延参加者数 23 人

(6) 子ども発達支援センターの移転等

子ども発達支援センターの新施設へ移転し、移転に伴う拡大事業として、重症児に対する保育所等訪問支援と居宅訪問型児童発達支援を開始した。

一部、予定どおり進捗しなかったもの

(7) 市町村中核子ども発達支援センター事業

北海道独自の「市町村中核子ども発達支援センター事業」について、認定を受け実施する予定としていたが、令和 2 年度に見送った。

1 振り返り

【事業総括】 （b） 事業はおおむね予定通りに進捗した

【特記事項】

(1) 道路整備事業について

市道整備事業については、交付金の削減により、南9号線を見送ることとなったが、大曲榎山線を中心に概ね計画通り実施することができた。

(2) 事業用地の取得について

用地取得については、地権者の都合などにより一部次年度となったケースもあるが、事業進捗に影響を及ぼさず用地取得を行った。

(3) 都市公園の整備について

老朽化が進む公園施設の改築更新は、つつじヶ丘公園テニスコート及び稲穂緑地の遊具の改築更新を実施したが、交付金の削減により、なかよし公園、わかくさ遊園地の遊具等に着手出来なかった。

(4) 市営住宅建て替えについて

老朽化が著しい共栄第2団地と北の台団地の建て替えについては、平成23年度より事業着手し、令和元年度は予定通り5号棟の建設を実施した。

(5) 橋梁の補修について

橋梁長寿命化修繕計画に基づき、大曲橋(大曲通)補修工事(札幌市への負担金)、開拓橋、泉陸橋及び広葉橋の補修工事を予定通り実施した。

(6) 大曲並木地区災害復旧について

北海道胆振東部地震により被災した大曲並木地区の災害復旧については、宅地耐震化実施設計は概ね計画通り終了したが、Cエリアの宅地耐震化工事及び地下水低下工事が地権者との合意形成に時間を要したことから、令和元年秋の工事着手予定が、令和2年春の着手と遅れが出た。

1 振り返り

< 農政課 > グリーン・ツーリズム推進事業外

【事業総括】 (b)事業はおおむね予定通りに進捗した

【特記事項】 ・「グリーンツーリズム推進事業」については、北広島市農泊交流協議会と連携し、モニターツアーを実施したほか、民間事業者主導による地域の農泊を推進する体制づくりを進めることができた。
・「六次産業化等支援事業」については、施設整備事業2件の交付決定を行い、農業者が取り組む6次産業化事業を支援した。（株式会社ナチュラルファーム楽園倶楽部直売所、野村幸宏 農家レストラン「NOMUキッチン」）

< 観光振興課 > サイクルツーリズム等観光拠点整備事業外

【事業総括】 (b)事業はおおむね予定通りに進捗した

【特記事項】 ・サイクリングツアー「ツール・ド・キタヒロ」2回の開催
・サイクルスタンドの設置（14カ所）
・多言語翻訳機を設置（2カ所）することにより、来訪者（インバウンド）の自動音声認識による多言語対応が可能となった。

< 観光振興課 > 観光振興事業

【事業総括】 (b)事業はおおむね予定通りに進捗した

【特記事項】 ・臨時観光案内所をイベントの集中する期間に開設し、事業運営の試行を実施。
・観光協会嘱託職員の採用（令和2年1月1日付）
・北広島市観光協会のあり方について考える検討委員会の答申を受け、独立法人化に向けて検討が行われた。

< 商工業振興課 > コミュニティビジネス創業支援事業、買物不便者対策事業

【事業総括】 (b)事業はおおむね予定通りに進捗した

【特記事項】 ・コミュニティビジネス創業支援事業は、昨年度に引き続き女性による創業が進み、女性創業者によるパンの製造販売2件を含む計3件の事業を指定した。
・買物不便者対策事業は、コープさっぽろとの連携による移動販売「おまかせ便カケル」を北広島団地地区の一部において約260日間、通年運行を実施した。また、宅配サービスをはじめとした買い物サービスの内容や店舗マップ、バスやタクシーなどの移動手段に関する情報などを掲載した「買い物サービス活用ガイドブック」を1万冊作成して関係機関等へ順次配付することでサービスの活用等を促進し、市民の買い物不便解消に努めた。

1 振り返り

【事業総括】 (b) 事業はおおむね予定通りに進捗した

【特記事項】

(1) 「施設の耐震化」

『水道』 西の里旧配水池の耐震化修正実施設計（交付金事業）

輝美町～広葉町の幹線配水管を耐震管へ更新（交付金事業）

『下水道』 大曲ポンプ場を耐震補強（交付金事業）

処理センター3系水処理棟の耐震補強実施設計（交付金事業）

(2) 「老朽施設の計画的更新」

『水道』 経営戦略に基づく老朽管更新事業について北広島団地を重点的に実施
第1期計画の実施率 89.4%

配水管老朽化率 H30 15.3% R1 17.9%

配水管耐震化率 H30 28.4% R1 29.1%

老朽化した緑陽配水池の電気計装・機械設備更新のため更新実施設計

『下水道』 下水道施設等ストックマネジメント計画の策定（交付金事業）

処理センターの2系消化タンク電気・機械設備を更新（交付金事業）

大曲ポンプ場の汚水ポンプ更新（交付金事業）

(3) 「経営基盤の強化」

水道事業経営審議会と下水道事業審議会を実質的に整理統合し経営基盤の強化に資するため必要な条例を整備

(4) 「その他」

(社)日本水道協会北海道支部主催の災害時相互応援訓練を開催（参加者 97 名）

国土交通省と下水道行政の推進に向けた意見交換会を開催

1 振り返り

【事業総括】 (b) 事業はおおむね予定どおりに進捗した

【特記事項】 入札・契約事務等の適正な執行について

当初執行計画 154 件の建設工事等に対して、最終実績として 162 件(8 件増)の入札を実施し、公平性・透明性を確保しつつ、担当課と調整を図りながら発注時期に影響を及ぼすことなく、適正な契約事務を執行した。

適切な工事審査・検査について

ボールパーク事業などに伴い、工事等の設計・施工に関する審査が当初 91 件に対し最終実績は 130 件と約 4 割の増、検査が 102 件に対し 126 件と約 2 割の増となったが、正確かつ迅速な審査に努め、各工事等の発注時期に影響を及ぼすことはなかった。また、検査についても適切な時期に実施することができた。

会計事務の適正な執行について

「会計事務の手引き」を活用し、担当者向け、管理職向けの会計研修を実施した。

1 振り返り

【事業総括】 (b)事業はおおむね予定どおりに進捗した

【特記事項】 (1) 行政視察

- ・総務常任委員会及び民生常任委員会が行政視察を行い、市が取り組んでいる事務事業や課題等に関連しての調査・研究に活かされた。

【総務常任委員会の視察内容】

移住・定住促進の取組み、プロ野球球団との広域連携の取組み、駅周辺整備

【民生常任委員会の視察内容】

健康寿命を延ばす取組み、産後ケアの取組み、

中央児童会館の取組み（中高生の居場所づくり）

- ・議会広報編集委員会の行政視察では、議会広報の編集に係る先進的な取組みについて調査・研究を行い、視察内容を参考に令和2年度から広報紙面構成等の全面的なリニューアルを進めることになった。

(2) 議会改革

- ・議会 ICT 化による会議の効率化、活性化を図るため、タブレット端末の導入に向け議会改革推進会議 ICT 作業部会において検討作業を進め、令和2年度から全議員に導入することになった。

(3) 議会運営

- ・議員改選後の議会体制の早期確立と議会運営の早期安定化を図るため、各議員との連絡、調整及びサポートを行い、新体制がスタートした。
- ・総合計画、都市計画マスタープラン及びボールパークに係る2つの特別委員会の設置、運営を含め、定例会及び各委員会等の議会全般の円滑な運営が行われるよう、各議員及び関係部局等との連携及び調整を行いながら、議会運営に努めた。

1 振り返り

【事業総括】 （b）事業はおおむね予定どおりに進捗した

【特記事項】

(1) 「平成 31 年度監査計画」に基づく監査

地方自治法等に定められた定例監査、財政援助団体等監査、決算審査、健全化判断比率等審査、例月出納検査などを、平成 31 年度監査計画どおりに適法性、経済性、効率性及び有効性の観点から実施することができた。

(2) 実効性ある監査

定例監査及び財政援助団体等監査等の監査の結果で指摘した事項が、指摘の趣旨に沿って是正、改善されたかを確認することができた。

また、指摘事項については対象の課にとどまらず全課にも通知し、全部局としての共通認識を図るようにした。

(3) 開かれた監査

透明性の高い開かれた監査とするため、監査結果の報告や指摘事項の改善措置等について、市のホームページに掲載するなど市民への情報提供をした。

1 振り返り

【事業総括】 （b）事業はおおむね予定通りに進捗した

【特記事項】

（教育総務課）

- ・市内小中学校のネットワーク機器及び小学校4校のプロジェクタ80台を更新した。
- ・学校施設長寿命化計画を策定した。
- ・大曲中学校大規模改造事業及び非構造部材耐震化工事を国の令和元年度補正予算を活用し、財政上有利な条件のもと効率的な整備を実施している。（令和2年度繰越事業）

（学校教育課）

- ・外国語指導助手(ALT)を2名、特別支援学級介助員を1名それぞれ拡大した。
- ・令和2年度から使用する社会科副読本の改訂及び福祉読本(小中合冊)を作成した。
- ・部活動の在り方に関する方針や市立学校における働き方改革推進計画を改定した。

（小中一貫・教育施策推進課）

- ・令和3年度に本市で開催が決定した小中一貫教育全国サミットに向け、準備に着手した。
- ・大曲、緑陽中学校区においてコミュニティ・スクール開始のため、準備検討委員会を開催。
- ・幼保小連携事業において、子ども発達支援センターを加え入学時における円滑な接続を図った。

（社会教育課）

- ・スポーツ振興計画策定は計画素案の答申を受け、計画策定及び決定に向けた準備を進めた。
- ・「きたひろしま 30km ロードレース」は、ファイターズとの連携協定に基づく取組みにより、過去最多の1,698名の参加となった。
- ・フレンドリーセンターについて、条例廃止、取壊工事を実施した。

（文化課）

- ・ホール及び図書館をLED化し、電力使用量の大幅な軽減となった。
- ・芸術文化ホール事業運営システム、図書館情報システムを更新した。

（学校給食センター）

- ・広葉調理場のフードスライサーの更新及び西の里調理場のプレハブ冷蔵庫ユニットの更新を行った。
- ・防災食育施設に関して、町内会長との意見交換会、住民説明会及びまちづくり計画策定委員会の意見を踏まえ、「まちづくり実施計画」を策定した。

（エコミュージアムセンター）

- ・史跡旧島松駅通所の大規模改修に向けた保存活用計画については、文化庁及び北海道教育委員会の確認を得、成案策定に向け準備が整い、整備基本計画策定のため、検討委員会設置条例の制定などを進めた。
- ・特別天然記念物野幌原始林の追加指定により、保存活用計画策定に向けた調査委員会設置条例の制定などを進めた。

1 振り返り

【事業総括】 (b)事業はおおむね予定通りに進捗した

【特記事項】 応急手当普及啓発事業については、開催予定回数を約 110 回、受講者数を約 2,500 人と見込んでいたが、新型コロナウイルス感染症の影響により 2 月から予定していた講習を中止したため、実施回数は 98 回、受講者数は 2,332 人といずれも予定を下回り、進捗率は実施回数で 89%、受講者数では 93%であった。